

教材活用シリーズ 第185回

☆日図協加盟出版社の発行している教材について、実際の授業における活用例、より効果を得られるポイント（場面・方法）などをご紹介します。

紙とデジタルの特性を生かした 新しい社会科資料集

(株)文溪堂
『社会科資料集Q デジたんQ』 5・6年



(株)文溪堂
編集部 社会チーム

はじめに —編集方針—
子どもたちに一人一台デジタル端末が配付され、さまざまな学習場面での活用が進んでいます。社会科においても、学習の問いについて調べる場面や、自分の考えをまとめる場面などで活用されています。このような状況をふまえると、今後は、デジタル端末と併用できる教材の需要が高まることが予想されます。

紙面には厳選した資料と資料を読み取るワークを掲載し、単元の導入段階で活用できる構成にしています。そして、紙面に表示した二次元コードを読み取ることで、該当の単元に関する資料を掲載したデジタルサイトにアクセスができます。デジタルサイトでは、子どもたちが自ら資料を選ぶ際の手助けとなるような工夫や、これまでの紙の資料集以上に資料を詳しく見ることができるよう機能を搭載しました。

『社会科資料集Q デジたんQ』は、単に紙の資料集をデジタル化したものではなく、紙とデジタルそれぞれの特性を生かし、場面に応じた使い分けをすることで、問題解決的な学習や探究的な学習を深めるまったく新しい社会科資料集です。紙面にもデジタルにも、これまでの資料集にはない工夫を盛り込んでいます。

特長

①紙面の資料で単元のめあてをつかむ
紙面は資料の見やすさにこだわったA4ヨコ型で、主に単元の導入場面で活用できるように資料に絞って掲載しました。一つの資料を見開きでダイナミックに掲載したり、複数の資料を並べて比較しやすいレイアウトにしたりしています。また、紙面の資料を読み取ることで、該当単元の学習のめあてがたてられる構成としました。資料を読み取るポイントを示し、ワーク形式で取り組むことで、学習のめあてや見通しをつかんでその後の学習を進められるように工夫しています。



実際に使用されている学校からは、デジタル端末を活用して、子どもたちが積極的に調べ学習を進めている姿が見られる、というお声をいただいています。



▲資料選択画面



▲キーワード検索画面

②デジタルで資料を選ぶ
『社会科資料集Q デジたんQ』の紙面には、単元毎に二次元コードを掲載しており、そこからデジタルサイトにアクセスできます。デジタルサイトには千点を超える数の資料を収録しました。資料を項目毎に分けて一覧で表示することで、調べたいテーマに沿った資料を子どもたちが自分で選択しやすいようにしています。また、キーワードを入力して検索することでも、関連する資料を表示する機能を搭載しました。



▲資料画面

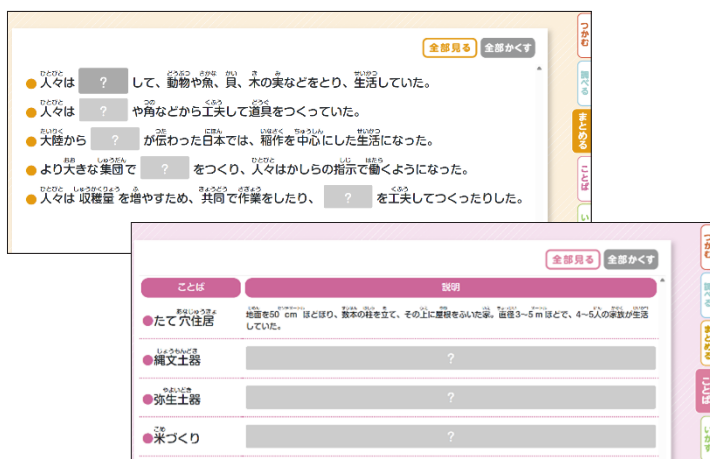


▲拡大、書き込み・保存機能

③デジタルで資料を読み取る
選んだ資料は画面上に大きく表示されるので、子どもたちはひとつの資料に集中して学習活動に取り組むことができます。また、資料一つひとつに「見よう（資料を見るときポイント）」「考えよう（資料から考えるときのポイント）」「解説」が表示されるので、資料のより深い読み取りが期待できます。他にもデジタルならではの機能として、「資料の拡大表示」「書き込み・保存」「音声再生」「動画再生」「統計資料の項目別表示」などを搭載しました。デジタルの強みを生かしてしっかりと資料を読み取れる点が、『社会科資料集Q デジたんQ』の大きな特長となっています。

④まとめページで学習を振り返る
デジタルサイトには、学習のめあてに対するまとめと単元内の社会科用語を、手軽に確認ができるページがあります。また、発展的な学習にチャレンジできるページもあるので、学習したことを生かしてより深く考える活動につなげることもできます。

▼「まとめる」画面



▲「ことば」画面

おわりに
文溪堂は、今回ご紹介した『社会科資料集Q デジたんQ』と従来の社会科資料集の2種類をご用意しております。学校や子どもたちの実態に合わせてご利用いただければと思います。